

全国銀行概況

（特定取引勘定設置銀行 21 行）

1. 損益状況

（※ 主な項目については表 1・2 を参照）

（表 1）損益状況

（単位：億円、％）

	全国銀行 (110行)		
	2021年度	前年度比増減額	増減率
業務粗利益	101,601	1,401	1.4
国内業務粗利益	77,239	5,752	8.0
資金利益	56,842	1,799	3.3
役務取引等利益	19,332	1,185	6.5
特定取引利益	402	564	-
その他業務利益	663	2,203	-
国際業務粗利益	24,363	△ 4,352	△ 15.2
資金利益	18,712	4,094	28.0
役務取引等利益	5,460	729	15.4
特定取引利益	△ 441	△ 2,601	-
その他業務利益	631	△ 6,574	△ 91.2
経費 (△)	65,174	△ 800	△ 1.2
人件費 (△)	27,803	△ 506	△ 1.8
物件費 (△)	33,421	62	0.2
税金 (△)	3,948	△ 357	△ 8.3
実質業務純益	36,452	2,202	6.4
うち国債等債券関係損益	△ 5,020	△ 6,068	-
コア業務純益	41,471	8,269	24.9
除く投資信託解約損益	39,855	7,925	24.8
一般貸倒引当金繰入額 (△)	△ 591	△ 5,545	-
業務純益	37,018	7,765	26.5
臨時損益	△ 5,347	△ 140	-
個別貸倒引当金繰入額 (△)	9,937	5,036	102.7
貸出金償却 (△)	864	△ 459	△ 34.7
株式等関係損益	6,343	1,951	44.4
貸倒引当金戻入益	87	56	182.8
償却債権取立益	699	243	53.2
その他	△ 1,676	2,187	-
経常利益	31,666	7,607	31.6
特別損益	△ 1,526	△ 2,509	-
税引前当期純利益	30,140	5,098	20.4
法人税、住民税及び事業税 (△)	9,956	2,003	25.2
法人税等調整額 (△)	△ 1,854	△ 555	-
当期純利益	22,037	3,650	19.8

（注）業務粗利益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + 特定取引利益 + その他業務利益
 資金利益 = 資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用)
 役務取引等利益 = 役務取引等収益 - 役務取引等費用
 特定取引利益 = 特定取引収益 - 特定取引費用
 その他業務利益 = その他業務収益 - その他業務費用
 実質業務純益 = 業務粗利益 - 経費等
 コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券関係損益
 コア業務純益 (除く投資信託解約損益) = コア業務純益 - 投資信託解約損益
 業務純益 = 業務粗利益 - 経費 - 一般貸倒引当金繰入額

（以下は、銀行単体をベースに取りまとめたものである。）

(1) 業務粗利益

業務粗利益は、10兆1,601億円（前年度比1,401億円、1.4%増）と増益となった。その内訳を概観すると、以下のとおりである。

① 資金利益

資金利益は、7兆5,554億円（前年度比5,893億円、8.5%増）と増加した。

うち、国内業務部門においては、5兆6,842億円（前年度比1,799億円、3.3%増）と増加した。資金運用収益は、貸出金利回りの低下を要因として貸付金利息が4兆4,281億円（同291億円、0.7%減）と減少したものの、有価証券利息配当金が1兆2,572億円（同1,174億円、10.3%増）と増加したこと等を受け、5兆9,565億円（同1,622億円、2.8%増）となった。また、資金調達費用は預金利息の減少等により、2,727億円（同177億円、6.1%減）と減少した。

国際業務部門においては、1兆8,712億円（前年度比4,094億円、28.0%増）と増加した。内訳をみると、資金運用収益は、有価証券利息配当金や金利スワップ受入利息が増加したものの、貸付金利息が1兆5,083億円（同1,735億円、10.3%減）と減少したこと等を受け、2兆7,959億円（同539億円、1.9%減）となった。また資金調達費用は、預金利息の大幅な減少等により9,247億円（同4,633億円、33.4%減）となり、資金運用収益の減少幅を上回った。

② 役務取引等利益

役務取引等利益は、国内業務部門において、1兆9,332億円（前年度比1,185億円、6.5%増）と増加し、国際業務部門においても、5,460億円（同729億円、15.4%増）と増加したことから、2兆4,792億円（同1,943億円、8.5%増加）と増加した。

③ 特定取引利益

トレーディング業務に係る**特定取引利益**は、国際業務部門において特定金融派生商品損益が収益超過から損失超過に転じたこと等により、△39億円（前年度比2,036億円減）と収益超過から損失超過に転じた。

④ その他業務利益

その他業務利益は、国内業務部門において国債等債券関係損益が大幅に増加したこと等により、663億円（同2,203億円増）と損失超過から収益超過に転じた一方、国際業務部門において、国債等債券関係損益が収益超過から損失超過に転じたこと等により、631億円（前年度比6,574億円、91.2%減）と大幅に減少したことから、1,294億円（同4,359億円、77.1%減）と減少した。

(2) 実質業務純益

実質業務純益は、資金利益の増加等により、3兆6,452億円（前年度比2,202億円、6.4%増）と増益となった。経費が減少したことから、上記(1)の業務粗利益よりも増益幅が拡大した。なお、コア業務純益は4兆1,471億円（同8,269億円、24.9%増）、コア業務純益（除く投資信託解約損益）は3兆9,855億円（同7,925億円、24.8%増）となった。

(3) 経常利益

経常利益は、株式等関係損益の増加や一般貸倒引当金繰入額の減少等から、3兆1,666億円（前年度比7,607億円、31.6%増）と上記(2)の実質業務純益の増益幅を上回った（増益81行、減益22行、黒字転換5行、経常損失2行）。

(4) 当期純利益

当期純利益は、特別損益が収益超過から損失超過に転じたものの、上記(3)の経常利益の増益が上回っ

たこと等から、2兆2,037億円（前年度比3,650億円、19.8%増）と増益となった（増益79行、減益24行、黒字転換5行、純損失2行）。

(5) 利回り・利鞘（国内業務部門）

貸出金利回りが0.88%（前年度比0.01%ポイント低下）となったほか、有価証券利回りが0.71%と前年度比横ばいとなった結果、資金運用利回りは0.66%（同0.03%ポイント低下）となった。預金債券等原価および資金調達原価は、それぞれ0.63%（同0.05%ポイント低下）、0.55%（同0.06%ポイント低下）となった。これにより、預貸金利鞘は0.25%（同0.04%ポイント上昇）となり、総資金利鞘は0.11%（同0.03%ポイント上昇）となった。

国内業務部門の利回り・利鞘の計算式および推移等の詳細については、「付属表・参考表」の第28表を参照。

(表2) 資金利益の内訳

(単位：億円、%)

	全 国 銀 行								
	全 店 分			国 内 業 務 部 門			国 際 業 務 部 門		
	2021年度	前年度比 増減額	増減率	2021年度	前年度比 増減額	増減率	2021年度	前年度比 増減額	増減率
資 金 運 用 収 益	87,301	1,102	1.3	59,565	1,622	2.8	27,959	△ 539	△ 1.9
貸 付 金 利 息	59,365	△ 2,027	△ 3.3	44,281	△ 291	△ 0.7	15,083	△ 1,735	△ 10.3
手 形 割 引 料	141	△ 24	△ 14.8	103	△ 16	△ 13.5	39	△ 9	△ 18.1
有 価 証 券 利 息 配 当 金	22,363	2,083	10.3	12,572	1,174	10.3	9,791	909	10.2
コ ー ル ロ ー ン 利 息	△ 29	△ 12	-	△ 6	3	-	△ 23	△ 14	-
預 け 金 利 息	2,385	716	42.9	1,724	684	65.9	662	32	5.0
そ の 他	3,076	366	13.5	891	68	8.3	2,408	278	13.1
資 金 調 達 費 用	11,751	△ 4,791	△ 29.0	2,727	△ 177	△ 6.1	9,247	△ 4,633	△ 33.4
預 金 利 息	2,414	△ 2,168	△ 47.3	726	△ 112	△ 13.4	1,688	△ 2,056	△ 54.9
譲 渡 性 預 金 利 息	523	△ 615	△ 54.0	25	△ 4	△ 14.2	498	△ 611	△ 55.1
コ ー ル マ ネ ー 利 息	18	△ 52	△ 74.5	△ 42	1	-	60	△ 52	△ 46.6
借 用 金 利 息	5,350	△ 334	△ 5.9	1,030	△ 58	△ 5.3	4,319	△ 276	△ 6.0
社 債 利 息	1,039	△ 167	△ 13.8	221	△ 74	△ 25.2	818	△ 93	△ 10.2
そ の 他	2,408	△ 1,456	△ 37.7	767	71	10.2	1,864	△ 1,546	△ 45.3
資 金 利 益	75,554	5,893	8.5	56,842	1,799	3.3	18,712	4,094	28.0

(注) 資金利益 = 資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用)

2. 主要勘定

(※ 資金調達・資金運用の主な項目については表3を参照)

(1) 資金調達（末残）

預金は、国内業務部門および国際業務部門ともに増加し、951兆5,361億円（前年度末比27兆2,335億円、2.9%増）と増加した。

(2) 資金運用（末残）

貸出金は、国内業務部門および国際業務部門ともに増加し、627兆5,204億円（前年度末比16兆3億円、2.6%増）と増加した。

有価証券は、国際業務部門において減少したものの、国内業務部門における国債および地方債の増加

等により、265兆8,735億円（前年度末比6兆6,577億円、2.6%増）と増加した。

銀行法及び再生法に基づく債権（銀行勘定の単体ベース）については、「付属表・参考表」の第6表を、**その他主要資産残高**については、「付属表・参考表」の第2表を参照。

(3) 純資産勘定

地方銀行1行、第二地銀協地銀6行で増資が行われたが、銀行の合併があったことから、資本金は10兆1,439億円（前年度末比10億円、0.0%増）となった。

純資産勘定の推移については、「付属表・参考表」の第12表を参照。

国内業務部門＝国内店の円建取引

国際業務部門＝国内店の外貨建取引＋海外店の取引

（円建対非居住者取引とオフショア勘定は国際業務に含む）

(表3) 主要勘定の内訳（末残）

（単位：億円、%）

	全 国 銀 行								
	全 店 分			国 内 業 務 部 門			国 際 業 務 部 門		
	2021年度末	前年度末 比増減額	増減率	2021年度末	前年度末 比増減額	増減率	2021年度末	前年度末 比増減額	増減率
預 金	9,515,361	272,335	2.9	8,517,479	239,872	2.9	997,882	32,463	3.4
譲渡性預金	591,139	32,555	5.8	328,342	10,321	3.2	262,797	22,233	9.2
貸 出 金	6,275,204	160,003	2.6	5,128,998	53,343	1.1	1,146,205	106,661	10.3
有 価 証 券	2,658,735	66,577	2.6	1,946,191	90,176	4.9	712,543	△23,599	△ 3.2
国 債	980,614	76,764	8.5	968,165	77,231	8.7	12,448	△466	△ 3.6
地 方 債	267,258	24,902	10.3	267,258	24,902	10.3	-	-	-
社 債	272,387	△3,384	△ 1.2	272,387	△3,384	△ 1.2	-	-	-
株 式	227,142	△19,658	△ 8.0	227,142	△19,658	△ 8.0	-	-	-
そ の 他	911,332	△12,047	△ 1.3	211,238	11,086	5.5	700,094	△23,133	△ 3.2